

公立高島病院改革プランにおける主要事業年次計画(H20～22)

1. 収益増加及び医療の充実・向上対策

※実行責任部門及び実行責任者は平成21年3月現在

番号	主要事業	20年度実施項目	20目標値	21年度実施項目	21目標値	22年度実施項目	22目標値	実行責任部門	20年度実行責任者
1	DPCの導入検討	○調査対象病院として申請(7月) ○調査データの送付(毎月)	—	○調査データの送付(毎月)	—	○DPC導入の可否検討 ○DPC対象病院へ移行	—	事務部(医事)	医療情報主査(亀井)
2	地域医療連携の推進	○連携バスの運用推進と新規バスの検討	—	○地域活動の推進 ○広報・営業戦略	—	○同左	—	地域医療連携室	看護師長(菅野美)
3	新たな常勤医師の招聘	○整形外科、外科医師の招聘活動(山大、他医大への要請活動と医師紹介会社との連携)	—	○整形外科、外科医師の招聘活動(山大、他医大への要請活動と医師紹介会社との連携)	—	○内科、眼科医師の招聘活動(山大、他医大への要請活動と医師紹介会社との連携)	—	事務部(総務)	事務長
4	外来患者の増加対策	○長期来院無し患者への受診案内 ○内視鏡の定期的検査案内 ○予防接種の充実 ○指導教育の充実(糖尿病教室・栄養指導・フットケア外来等) ○診療所へのPR活動の強化 ○内科午後診療の再開(12月～) ○インフルエンザ予防接種(出前:町内企業等)	◎患者増19人/日	○同左 ○インフルエンザ予防接種(出前:町内企業、各地区公民館等) ○町健診事業の一部受託	◎患者増28人/日	○同左	◎患者増33人/日	医局・事務部(医事)・看護部(外来)	医局長 看護師長(菅野)
5	入院、外来日当点のアップ	○入院時検査の約束指示のルール化 ○療養病棟患者の医療区分2以上の割合アップ ○退院時服薬指導の徹底 ○検査指示漏れ防止策の実施	◎入院日当点 一般 26,500円 療養 14,500円 ◎外来日当点 5,700円(透析除く) ◎医療区分2以上割合 70%	○同左 ○医療クラークの配置検討	◎入院日当点 一般 26,500円 療養 14,500円 ◎外来日当点 6,000円(透析除く) ◎医療区分2以上割合 70%	○同左	◎入院日当点 一般 27,000円 療養 15,000円 ◎外来日当点 6,300円(透析除く) ◎医療区分2以上割合 75%	医局・事務部(医事)	医療情報主査(亀井)
6	ベッドコントロールの徹底	○ベッドコントロールシステムの導入(在院日数・退院人数の調整)	◎一般 91% ◎療養 90%	○同左 ○亜急性期病棟2の導入検討	◎一般 92% ◎療養 93%	○同左	◎一般 92% ◎療養 95%	看護部(病棟)・地域医療連携室	総看護師長
7	人間ドックの内容充実	○オプション検査の充実 ○再検査対象患者へのフォローアップ		○人間ドックの内容充実とPR		○同左		事務部(医事)	医療情報主査(亀井)
8	人工透析の充実強化	○増床検討(市場・収支分析) ○透析室改装・増床(2～4床)	◎患者増6人/日	○スタッフ(ME)増員 ○長時間透析の検討 ○さらなる増床の検討 ○腎臓内科医の招聘活動	◎増収23,800千円/年 ◎患者増12人/日	○同左 ○医師招聘により増床(20床規模)	◎増収23,800千円/年 ◎患者増12人/日	事務部(総務)・透析室	事務長
9	リハビリテーション医療の充実	○筋力トレーニングの実施(健康福祉課事業との連携) ○処理患者数、単位数の増 ○リハに付帯する加算料の確実な取得 ○通所リハの検討	—	○同左 ○通所リハの実施	—	○同左	—	理学療法科	科長(縮井)

10	医療機器の計画的な更新と導入	○マルチスライスCTの導入(3月～)	-	○医療機器更新計画書の作成 ○血圧脈波計の導入 ○PACS導入検討	-	○医療機器の計画的な更新	-	事務部(総務)	事務次長
----	----------------	--------------------	---	---	---	--------------	---	---------	------

2. 経費削減対策

番号	主要事業	20年度実施項目	20目標値	21年度実施項目	21目標値	22年度実施項目	22目標値	実行責任部門	20年度実行責任者
1	委託業務内容の見直し	○委託内容の精査と委託範囲の再検討		○維持管理コストの再見直し				事務部(総務)	事務次長
2	人件費及び人件費比率の適正化策	○職員給与独自削減の実施	◎給与費比率64.0%	○職員給与独自削減の実施 ○特殊勤務手当、給与体系の検討 ○組織見直し検討	◎給与費比率62.3%		◎給与費比率62.3%	事務部(総務)	事務長
3	診療材料費・薬品費の削減策	○絞込みの徹底 ○単価交渉強化 ○共同購入の検討	◎対前年度比 -5%	○同左 ○SPDシステムの再検討 ○フィルム・試薬類購入単価の見直し	◎対前年度比 -5%	○同左	◎対前年度比 -5%	事務部(総務)・薬剤科	事務次長
4	院内省エネの推進	○節水装置の導入(11月～)	-	○同左 ○ESCO事業化の検討 ○各部門毎の省エネの推進	-	○同左 ○ESCO事業の導入	-	事務部(総務)	事務次長

3. 人材育成及び組織活性化対策

番号	主要事業	20年度実施項目	20目標値	21年度実施項目	21目標値	22年度実施項目	22目標値	実行責任部門	20年度実行責任者
1	5S活動の導入	○職員研修(意識高揚)と計画の策定(テーマ:整理・整頓) ○推進委員会の設置、活動準備	-	○整理・整頓の実施 ○実施状況の診断と改善	-	○整理・整頓フォロー教育 ○職員研修と計画の策定(テーマ:清掃・清潔・しつけ)	-	5S推進委員会・医療安全管理室	5S推進委員会委員長
2	目標管理制度及び人事評価制度の導入	○目標管理制度一次試行(12月～) ○全職員・部門長研修(人事評価制度)	-	○目標管理制度二次・三次試行 ○評価体制、方法の検討(制度設計)	-	○同左 ○職能要件書の作成	-	事務部(総務)	事務長
3	職員研修の充実	○定例研修会の充実 ○外部研修への計画的な派遣	-	○職員研修台帳の作成 ○レセプト点検、職員診療報酬研修会の開催	-	○定例研修会の充実	-	事務部(総務)・看護部	総務主査(佐藤)

4. 診療所・施設との連携強化及び町保健事業への参画

番号	主要事業	20年度実施項目	20目標値	21年度実施項目	21目標値	22年度実施項目	22目標値	実行責任部門	20年度実行責任者
1	診療所・介護施設等との連携強化	○紹介活動の充実(パンフ配布、定期訪問、返書の充実) ○情報交換会の開催	-	○医療ソーシャルワーカーの配置 ○広報・営業戦略	-		-	地域医療連携室	看護師長(菅野美)
2	訪問看護ステーションの機能充実	○在宅養患者数の把握と訪問看護対象者の増加対策	-	○訪問看護ステーションの充実検討	-	○24時間訪問看護ステーションの運用開始	-	訪問看護ST・地域医療連携室・看護部	訪問看護ST所長
3	町保健事業への積極的参画	○母子保健事業(新生児訪問、パパママ学級等)への参画・協力 ○特定健診・特定保健指導への対応充実	-	○同左 ○町健診事業の一部受託	-	○同左	-	看護部・栄養科	総看護師長

5. 町民への情報提供、PR対策

番号	主要事業	20年度実施項目	20目標値	21年度実施項目	21目標値	22年度実施項目	22目標値	実行責任部門	20年度実行責任者
1	ホームページの充実	○更新作業の委託化(8月～) ○掲載内容の見直し(8月～)	—	○毎月更新	—	○毎月更新	—	事務部(総務)	総務主査(佐藤)
2	職員出前講座の充実	○医師による町民講座の開催 ○医療スタッフによる出前講座の実施 ○公民館事業とのタイアップ	10回/年	○同左	15回/年	○同左	20回/年	事務部(総務)	事務次長
3	町民への情報提供	○広報への定期掲載 ○ホームページへの定期掲載 ○ふれあいトークの活用 ○公民館事業との連携	—	○同左 ○病院広報誌の作成	—	○同左	—	事務部(総務)・医療情報委員会	総務主査(佐藤)

6. その他

番号	主要事業	20年度実施項目	20目標値	21年度実施項目	21目標値	22年度実施項目	22目標値	実行責任部門	20年度実行責任者
1	未収金対策の徹底	○夜間、休日受診時の概算払い制度の導入(実施済み) ○窓口未収金個別対策表の作成と職員による家庭訪問の実施	◎100万円/年間	○同左	◎100万円/年間	○同左	◎100万円/年間	事務部(医事、総務)	事務長
2	院内コミュニケーションツールの充実	○院内広報の再開検討	—	○院内広報の再開 ○院内LANの実施検討	—	○院内LANの整備	—	事務部(総務)・医療情報委員会	事務次長
3	カード決済システムの導入	○導入カード会社の選定(10月) ○窓口教育、システム稼働(12月)	—	○利用状況の把握及び評価	—	○利用状況の把握及び評価	—	事務部(医事)	医療情報主査(亀井)
4	医療安全体制の充実	○院内研修会の充実 ○研修会への職員派遣	—	○安全管理の徹底	—	○安全管理の徹底	—	医療安全管理室	室長